

てはお針の稽古にやられずとの考へを父兄は皆持ちをるやに考へられ候、其の故は學校の裁縫なる者が不完全なる事故と存じ候、田舎に於ては裁縫教師に乏しく候、殆ど至る所の學校皆無資格の教師許りに候、其の教員も多くは教育志想の少しもなき者に候故、裁縫教授の完全を望まれぬ所から自然父兄がかくなる考へを持ち候事と推察仕候、如何かして裁縫の良教師の養成方法を講じたしと我等日々思考する所に御座候、裁縫が國民教育を妨害すとは實に歎くに堪へざる事に御座候。

○小兒保育院 兼て諸君方は各新聞紙上に於て御承知の事と存じ候が、相州腰越の慈善家佐竹音次郎氏の設立に係る小兒保育院は、實に美舉に御座候小生も今日は其の院に身を寄せ候事に相成候間、何れ公務の餘暇詳細御報致すべく候(以上)

北海道通信 通信員

○札幌中學校の雪戰會 一月二十三日札幌中學校構内に開會、尾原校長を會長に職員及び生徒を總務審判接待風紀炊事新聞記者寫眞隊等を組織し北軍東軍とに分ち、約二百名宛となし數回の戰鬥をなし、など近頃珍らしき盛會なりき。

○女子高等師範學校の入學試驗 一月十五日より十七日迄三日間、北海道教育會事務所なる假試驗場に舉行されしが、受験者は函館區高田テツ、札幌區村木ミヨ、同片倉イチの三名なりき。

○北海道壽都私立女學校の設立 壽都町大字大磯、土谷アサ外十名は有志の醜金を以て同地に壽都實業女學校を設立せんと今回道廳に認可を申請に及びたるが、同校の目的は裁縫家事の二科を主とし、地方女子の徳操を養成せんとするにあり、

修業年限本科三年補習科一ケ年なり。

○女子教育の景況 本道は一般に女子教育は進

歩せざりしが、漸々高等女學校の設立を見るに至

り殊に客月下田歌子先生のはるく本道に來られ

て女子教育の爲めに諸所に講演などありてより

は、一層斯の道の隆盛を見るに至れり、尙笈を負

ふて東都に出でんとするもの續々たるは本道の爲

めに慶賀すべきことなり。

○本道の氣候 入寒以來非常の暖氣にて例年に

比し平日五度乃至十度の高温を示したるが、大寒

となりても正午の氣壓は七百六十三耗を示し、氣

温益々上昇し○下七度(華氏三度)三南東の微風あ

り雨天模様となり、頗る温氣にて平年の大寒當日

に比して四度(華氏七度)二の高温を示せり。

會報

第廿八常會

先月十四日午後一時二十分より華族女學校幼稚園に於て開會、女子高等師範學校教授下田次郎君の歐米幼稚園教育視察談及會員相互の隨意談話ありて午後四時開會せり出席者は凡七十名なりき。

入會の郡

- 京橋區築地二丁目朝海小學校
- 淺草區須賀町二
- 神奈川縣三浦郡豐島村中里二〇二
- 赤坂區青山南町二ノ四〇
- 本郷區弓町二ノ三四
- 神田區淡路町一ノ一
- 牛込區市谷加賀町二ノ十
- 牛込區市ヶ谷藥王寺前町七四
- 埼玉縣浦和町
- 淺草區千束町二丁目
- 岡山市
- 本郷區駒込動坂
- 石川縣高等女學校
- 同
- 和歌山縣師範學校
- 小原 尙美
- 鳥居しげ子
- 高木 梅
- 石井 國次
- 古市 幸
- 十文字 こと
- 柴田 ちた
- 山田 やて
- 志村 みき
- 小關 すて
- 大賀 ふく
- 佐藤 都や
- 宇野 むつ
- 高桑 たま
- 會野 きくえ